

令和7年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立志茂田小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・「思考力・判断力・表現力」では、教師が価値づけた動きや考えを共有する場面を設定することで、児童が見つけた考えや動きのコツ等を言語化して表現できるようになってきた。
- ・「知識及び技能」では、自分の課題にあった工夫を考え、試行錯誤し、スモールステップで技能向上を意識して運動に取り組めることができるようになってきた。

(2) 課題

- ・「知識及び技能」では、習得に個人差が見られる。日常の運動習慣の差が、技能習得の差に影響していることが考えられる。また、投力や握力については、全体的に課題が見られる。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
技のポイントを視覚的に提示し、スモールステップで技能の向上を図れるようにする。	ペアやトリオの学習を取り入れたり、ICTを活用したりして、自分の動きを客観的に見て改善できるようにする。	様々な運動遊びの楽しさに触れさせ、日常的に運動しようとする意欲を育てる。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・個人に合わせた目標を細かく設定し、見通しをもち、一つずつ達成できるようにする。 ・場やグループの設定を工夫して、児童が効果的に技能を身に付けることができるようにする。	・小グループで、友達同士でアドバイスし合う活動を継続的に取り入れる。 ・技能のポイントと自分の課題を照らし合わせてめあてを設定する場面や、めあてに合った場を選び、練習を考えるように指導する。	・目標を達成する楽しさを意識させ、小さな「できた」を称賛し価値付ける。 ・活動内容やルールなど児童の考えを取り入れることで、児童が主体的に運動にかかわることができるようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・体力テストや運動経験について児童の実態に応じた教材を工夫したり、部分的に技能を学べるゲームを取り入れたりする。	・友達のアドバイスやICTを活用して、自分の成長が実感できるようにする。 ・自分や友達の考えを他者に伝える場面を計画的に設定する。	・活動内容やルールを工夫することにより、自分たちで決めた約束を守り助け合って運動できるようにする。 ・友達の考えを聞くことで、自分の課題についての解決方法を考えたり、深めたりする。

